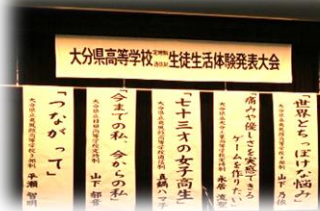


# 第

63回大分県高等学校定時制通信制「生徒生活体験発表大会」が10月19日（金）

爽風館高校アリーナにて開催されました。発表者の応援を兼ねて、全校生徒・職員で午前中から日田をバスで出発して大分市に向かいました。

各校（日田・大分工業・爽風館高校定時制・通信制）より基準弁論を含めた代表生徒5名が出演し、11月の全国大会に向けて弁論を競い合いました。



各校で行われた校内選考を経た選りすぐりの代表が、これまでの自分の人生に向き合い、自分の未来への思いや決心を熱く語ってくれました。人間関係の悩みや不安定な家庭環境、からだの障害からくる苦難等を乗り越えて、定時制・通信制で学びながら、自分の夢や将来の希望を達成しようとする強い決意には、深く感銘を受けました。本校代表の山下郁音さん（1年生）



も、練習の成果を十二分に発揮してしっかりと大きな声で胸を張って自らの思いを熱く語り、聴衆を魅了しました。最優

秀賞は爽風館高校3部制に譲りましたが、山下さんも優良賞に輝き、素晴らしい成果を納めることができました。山下さんには、今回の県大会出場の経験をこれからの生活に活かしながら、語ってくれた目標の達成に向けて、さらなる努力を重ねてもらいたいと思います。お疲れさまでした！

大分県立日田高等学校 定時制  
平成30年度 第9号

学校だより

## 希望理想使命

2018年(平成30年)11月16日

発行

ICT機器を授業で活用するための職員研修を、11月5日（月）に行いました。今年度2回目のICT機器研修になりますが、今回は大分工業高校の足立正和指導教諭にご配慮いただき、横浜市から株式会社L o i l oの上原浩平氏を講師としてお招きし、「ロイロノートスクール」の活用方法について説明していただきました。まずは、講師から各職員のiPadに課題が送られてきました。テーマは「日田のオススメは？」。カードへの書き込みの仕方や写真の取り込み方など、具体的な操作方法の説明を受けながら、まるで生徒のように真剣な表情で課題に取り組んでいました。提出されたカードをプロジェクターで一覧表示し、それぞれが作成したカードの比較をしました。講師の先生から、自分のカードに『はなまる◎』をもらった時の満足感を体験し、褒めることの大切さを改めて実感できました。授業改善のツールの1つとして「ロイロノートスクール」は、生徒の興味関心を引くのに効果的なアプリではないかと思いました。今後はランニングコストの課題等も検討しながら、さらなる活用の幅を広げていけるように研修を重ね教材研究に取り組んで行きたいと思います。

# 人

権講演会「デートDV防止セミナー」が、10月31日（水）、本校会議室で行われました。講師に日田地区人権擁護委員の大岡平和先生をお招きし、暴力（DV）のない社会の実現を目指し、近い将来、社会人となる生徒が未来の加害者・被害者になることなく、DV予防と人権尊重の大切さを考える機会とするために実施しました。大岡先生のお話は「お互いを大切にして よりよい関係を築くために」と題して、マンガを交えた分かりやすいスライドと優しい口調で、デートDVとは何か、若者にありがちな恋愛観、自分と相手を思いやる方法、被害にあったり相談を受けたりしたときの対処法などについて具体的な話をして頂きました。大岡先生の分かり易い話を聴き、生徒も何がデートDVにあたるのか、相手の人権を尊重することの大切さについて、改めて確認できたことと思います。1時間あまりの講話でしたが、生徒も集中して聞くなど大変有意義な時間になりました。



## Editor's Note 【編集後記】



学校行事が多いことは定時制の大きな魅力の1つ。2学期は次から次に行事がやって来る感じだ。大変だが、真剣に取り組めば、それだけ満足感も強くなる。積極的にやってみよう！

